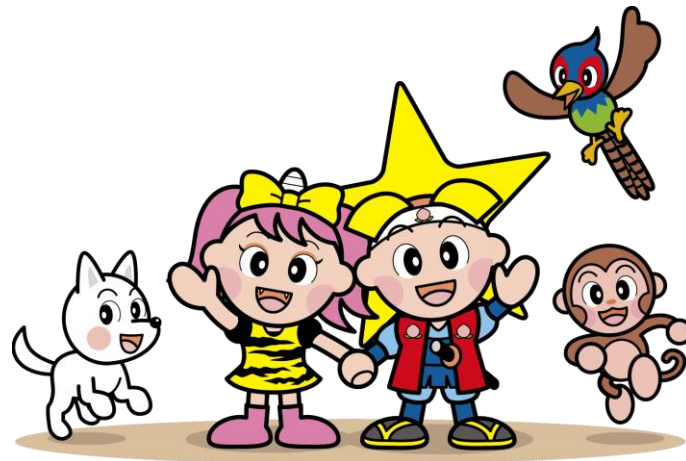


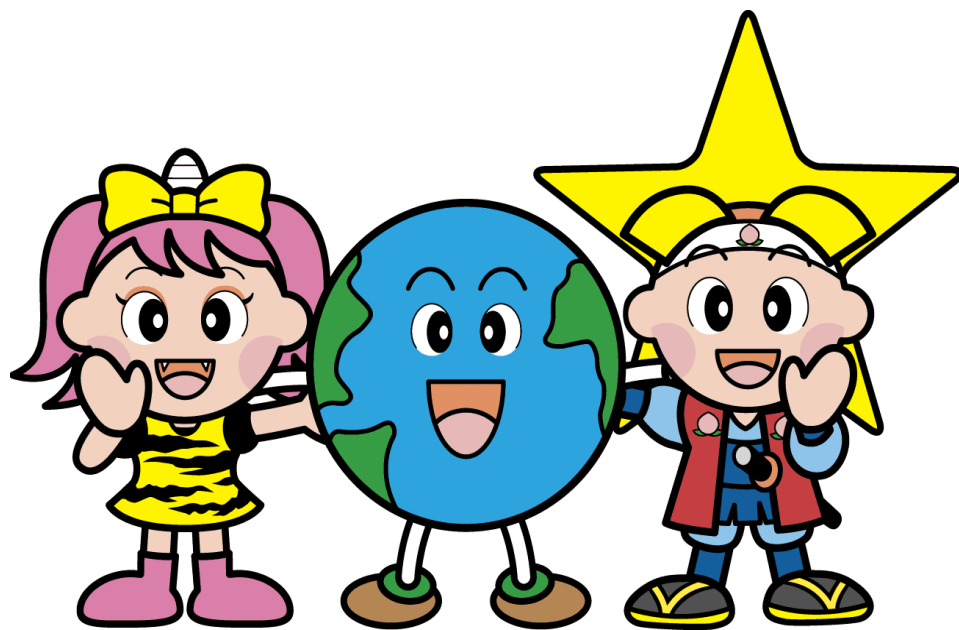
平成28年度
岡山県学力・学習状況調査

調査結果を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

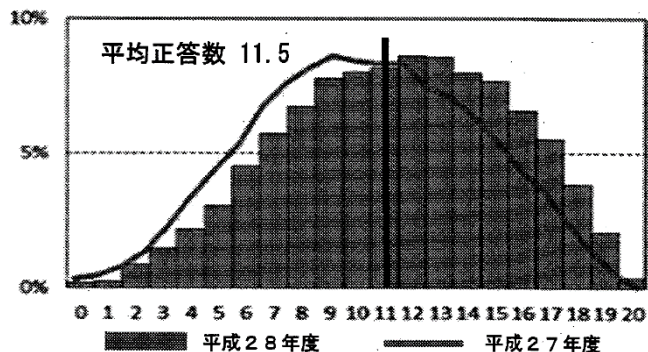
社 会



設問ごとの概要

★：同一問題 ◎類似問題

正答数度数分布



| 平均正答率 | 観点別平均正答率 | | |
|-------|----------|-------------|-------|
| | 思考・判断・表現 | 資料活用 の技能 | 知識・理解 |
| 57.3 | 45.9 | 58.6 | 59.6 |
| 51.6 | 34.1 | 54.4 | 56.6 |

上段が平成28年度、下段が平成27年度

| 大問番号 | 中間番号 | 小問番号 | 出題のねらい | 観点 | 正答率 | 無解答率 | 正答率グラフ | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|---|----|------|------|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|--|--|
| | | | | | | | 0 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | | |
| 1 | (1) | ① | 建物の地図記号を理解している。 | 知 | 71.2 | 6.6 | ★ 69.1 | | | | | | | | | | | | |
| | | ② | 土地利用の地図記号を理解している。 | 知 | 63.4 | 4.5 | ★ 64.5 | | | | | | | | | | | | |
| | (2) | | 四方位と建物の地図記号の理解を基に、地図を読み取ることができる。 | 技 | 64.4 | 0.9 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | (3) | | 方位や地図記号、距離を表す目盛の理解を基に、地図を読み取ることができる。 | 技 | 72.7 | 4.4 | ◎ 64.2 | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | 県の地形について理解している。 | 知 | 36.8 | 6.4 | ◎ 69.0 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | (2) | | 県の主な産業の概要について理解している。 | 知 | 47.8 | 0.9 | | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | 我が国の位置と領土についての理解を基に、地図を読み取ることができる。 | 技 | 68.5 | 0.5 | ◎ 58.3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | (2) | | 都道府県の名称と位置を理解している。 | 知 | 65.7 | 0.6 | ◎ 41.9 | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | マスメディアの働きについて理解している。 | 知 | 83.6 | 0.4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | (2) | | 情報を発信する側の役割や責任、受け取る側の正しい判断の必要性について考えることができる。 | 思 | 89.1 | 0.4 | | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | 聖徳太子について理解している。 | 知 | 93.3 | 2.7 | | | | | | | | | | | | | |
| | (2) | | 平城京について理解している。 | 知 | 36.4 | 11.8 | | | | | | | | | | | | | |
| | (3) | | 大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。 | 思 | 39.1 | 14.4 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | (4) | | 天皇を中心とした政治について理解している。 | 知 | 71.4 | 0.8 | | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | 室町文化の資料を読み取ることができる。 | 技 | 49.2 | 0.5 | | | | | | | | | | | | | |
| | (2) | ① | 京都の室町に幕府が置かれたころの、代表的な建築物の資料を読み取ることができる。 | 技 | 38.4 | 5.9 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | ② | 室町文化の特色を理解している。 | 知 | 38.2 | 0.8 | | | | | | | | | | | | | |
| | (1) | | 税金について理解している。 | 知 | 73.2 | 7.6 | ◎ 74.6 | | | | | | | | | | | | |
| | (2) | | 地方公共団体の政治の働きについて理解している。 | 知 | 33.7 | 1.1 | | | | | | | | | | | | | |
| | (3) | | 国民生活に反映されている、地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。 | 思 | 9.6 | 11.7 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 57.3 | - | | | | | | | | | | | | | |

前年度までの同一問題・類似問題との比較

| H28 岡山県学力・学習状況調査の設問の概要 | | | | 前年度までと今年度の正答率 | |
|------------------------|----|-------|---------------------------------------|---------------|--------|
| 設問番号 | | 設問の概要 | | 前年度まで | 平成28年度 |
| 1(1)① | 同一 | 小3・4 | 建物の地図記号を理解している。 | 69.1% | 71.2% |
| 1(1)② | 同一 | 小3・4 | 土地利用の地図記号を理解している。 | 64.5% | 63.4% |
| 1(3) | 類似 | 小3・4 | 方位や地図記号、距離を表す目盛の理解をもとに、地図を読み取ることができる。 | 64.2% | 72.7% |
| 2(1) | 類似 | 小3・4 | 県の地形について理解している。 | 69.0% | 36.8% |
| 3(1) | 類似 | 小5 | 我が国の位置と領土についての理解をもとに、地図を読み取ることができる。 | 58.3% | 68.5% |
| 3(2) | 類似 | 小3・4 | 都道府県の名称と位置を理解している。 | 41.9% | 65.7% |
| 7(1) | 類似 | 小6 | 税金について理解している。 | 71.6% | 73.2% |

多くの問題で改善が見られたが、県の地形に関する問題で課題が見られる。

資料から必要な情報を抽出し、社会的な事象についての考えを説明する問題

| | 設問番号 | 設問の概要 | | 正答率 |
|-------------------|---------------|--------|--|-------|
| H28 岡山県 調査の正答率 | 5(3) | 小6 | 大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。 | 39.1% |
| | 7(3) | 小6 | 国民生活に反映されている、地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。 | 9.6% |
| 過去の出題と 正答率 | H27.3(2) | 小5 | 出雲地方に築地松が多く見られる理由を、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。 | 53.7% |
| | H27.4(3) | 小5 | 豊田市の工業生産の様子について、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。 | 34.7% |
| | H27.5(4) | 小6 | 豊臣秀吉による検地の目的について、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。 | 32.8% |
| | H26.1(3) | 小3・4・5 | 自動車工場が集中する地域について、根拠を複数の資料を基に考察し、その内容を説明することができる。 | 33.0% |
| | H26.2(2) ① | 小3・4 | 利根川で取水制限が行われた時期を、ダムの貯水量の変化と降水量の平年との比較を基に判断し、その内容を説明することができる。 | 32.2% |

必要な情報を取り出し、複数の資料の情報を関連付けて説明することに課題がある。

結果の概要

成 果

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問のうち、同一問題や類似問題に改善が見られ、特に地図から必要な情報を読み取る力が向上した。
- 思考・判断・表現を問う設問全体の平均正答率について、昨年度と比較して11.8%の上昇が見られた。

課 題

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題では、本県の地形や主な産業に関する設問、歴史的分野に関する設問に課題が見られる。
- 資料から必要な情報を抽出し表現する問題に課題があり、情報の抽出、比較、関連付け、再構成等を意識した授業改善が求められる。

調査結果を活用した授業改善のポイント

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着
- ② 社会科における言語活動の充実

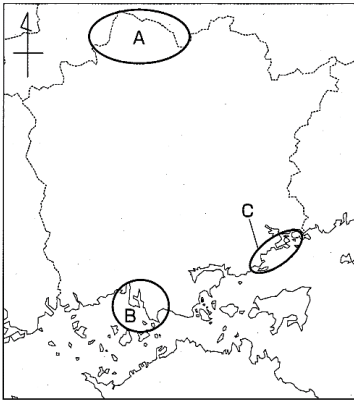
資料を根拠に、自分の考えを伝える活動を通じて

- (1) 複数の資料から情報を取り出して書く。
- (2) 必要な情報を判断し、比較、関連付けたことを再構成し、根拠となる資料を示しながら書く。
- (3) 自分の判断した結果を基に、他者に対して表現する。



岡山県の地形や主な産業の概要について問う問題

2 まさみさんのクラスでは、岡山県の地形や産業について学習しました。次の地図と会話文を見て、あとの問いに答えなさい。



まさみ 「県の北の方に東西に広がっている山地は「ア」山地だよ。」
 じゅん 「広い土地を生かして、牧場で牛を飼っているのを見たことがあるよ。」
 まさみ 「香川県との間にある海は「イ」海よね。」
 ひろみ 「県の西の沿岸部では、うめ立て地の港に大きなタンカーがとまっているのを見たよ。」
 じゅん 「県の東の沿岸部では、たくさんの養殖いかだがかんがうかんでいる様子を見たことがあるよ。」
 まさみ 「岡山県では、地形の特徴を生かした産業が発達しているんだね。」

- (1) 会話文中のア、イにあてはまる言葉を書きなさい。
- (2) 会話文中の下線部について、地図中のA、B、Cの地域に発達している産業の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。
- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1 A…工業 | B…水産業 | C…らく農 |
| 2 A…らく農 | B…工業 | C…水産業 |
| 3 A…らく農 | B…水産業 | C…工業 |
| 4 A…工業 | B…らく農 | C…水産業 |

問題 2 (1) 県の地形についての理解

| | | | |
|--|---|---|------|
| 〈ア〉に「中国(山地)」、〈イ〉に「瀬戸内(海)」と解答しているもの(完答) | 1 | ◎ | 36.8 |
| 〈ア〉に「中国(山地)」と解答しているが、〈イ〉は誤答・無解答であるもの | 2 | × | 3.9 |
| 〈イ〉に「瀬戸内(海)」と解答しているが、〈ア〉は誤答・無解答であるもの | 3 | × | 38.2 |
| 上記以外の解答 | 9 | × | 14.6 |
| 無解答 | 0 | × | 6.4 |

問題 2 (2) 県の産業についての理解

| | | | |
|---------|-------|-------|------|
| 1 A…工業 | B…水産業 | C…らく農 | 7.0 |
| 2 A…らく農 | B…工業 | C…水産業 | 47.8 |
| 3 A…らく農 | B…水産業 | C…工業 | 34.6 |
| 4 A…工業 | B…らく農 | C…水産業 | 7.3 |
| 5 無回答 | | | |

指導のポイント

- 県内の地形や特色ある地域を白地図に書き表す活動を行い、県全体に関する理解を深めます。
- 教室に県の地図を掲示し、折に触れて、地形や特色ある地域を確認することで、地名と地図上の位置を関連付けます。
- 文章で示される方位と地図上の位置関係を関連付けます。



歴史的分野の知識・理解について問う設問

問題 5 (2) 平城京についての理解

| 年 | できごと |
|-----|-------------------------------------|
| 607 | 遣隋使 <small>けんずいし</small> が送られる |
| 645 | 大化の改新 <small>たいかのかいしん</small> が始まる |
| 710 | 都が□に移る |
| 724 | 聖武天皇 <small>せいむてんおう</small> が即位する |
| 737 | 都で伝せん病 <small>でんせんびょう</small> が流行する |

| | | | |
|----------------|---|---|------|
| 「平城京」と解答しているもの | 1 | ◎ | 36.4 |
| 上記以外の解答 | 9 | × | 51.8 |
| 無解答 | 0 | × | 11.8 |

問題 6 (2) ② ② 会話文中の下線部ウの具体例としてあてはまる内容を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

室町文化の特色の理解

- ① 1日に3回食事をとる習慣が広まり始めた。
- ② 『源氏物語』など、かな文字を用いた文学作品が**つくられた**。
- ③ 歌舞伎などを見て、人々が楽しむようになった。
- ④ 渡来人たちにより、土木技術や焼き物などの技術が広められた。

38.2

18.7

32.6

9.6

指導のポイント

- ・児童生徒が、商工業の発達や農業技術の進歩などの世の中の変化や民衆の生活の高まりといった室町時代の大きな特徴の中で、人々の生活の変化を捉えることができるよう工夫しましょう。
- ・児童生徒が身近に感じることができるよう、現在の生活とのつながりを実感できる学習活動を構成しましょう。



問題 5 (3)

①見るべき資料を確認する

(3) よしおさんは、【カードB】の聖武天皇が行った政治や当時の様子について、次のように発表しました。【カードB】や年表をもとに、よしおさんの発表の にあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。

【よしおさんの発表】

聖武天皇が大仏や国分寺をつくった理由は、 と考えていたからです。

②異なる資料に共通するキーワードを見つける

【カードB】 聖武天皇

- 天皇を中心とする政治のしくみを確立した。
- 東大寺の大仏をつくることや、全国に国分寺をつくることを命じた。

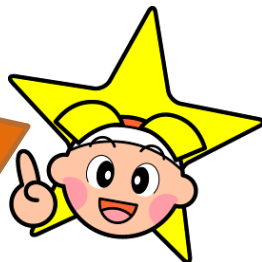


③理由を考える

| ねん年 | できごと |
|------|------------------------------|
| 607 | 遣隋使が送られる |
| 645 | 大化の改新が始まる |
| 710 | 都が <input type="text"/> に移る |
| 724 | 聖武天皇が即位する |
| 737 | 都で伝せん病が流行する このころ各地で災害が起こる |
| 740 | 貴族の反乱が起こる |
| 741 | 国分寺をつくる命令が出される |
| 743 | 大仏をつくる命令が出される |
| 794 | 都が平安京に移る |
| 894 | 遣唐使が停止される |
| 1016 | 藤原道長が政治の実権をにぎる |

指導のポイント

児童の実態に合わせて、資料を見る手順や視点等を丁寧に伝えていく指導も必要です。



＜正答例＞伝染病が流行したり、災害や戦乱が起こったりしていたので、仏教の力で国を治めたい(と考えていたからです)。

資料を根拠とした説明の場を設定し、言語活動の充実につなげる

資料から必要な
情報を抽出する



情報の比較・
関連付け・総合



資料の整理や
再構成

児童生徒の実態に合わせた丁寧な指導も必要

- グラフ(資料)のタイトルは何か。
- 出典は何か。
- 縦軸・横軸は何を表しているか。
- 単位は何か。
- 全体的にどのように変化しているか。
- 変化はどこが大きく、どこが小さいか。
- グラフ(資料)から今後の変化を予想できるか。

話型の提示

比較

- ～と～は同じである
- 違う点は～である

関連付け

- 「～であるのは～だからである
- ～と～は～という点で共通している。

総合

- したがって～と考える
- ～と～をまとめると

☆ 学習問題に即して具体的に調査したり、…基礎的資料を活用したりして調べ…る必要がある。また、調べたことや社会的事象の意味について…、根拠や解釈を示しながら、図や文章などで表現し、説明する…ことが大切である。

問題 7 (3) を例にすると・・・

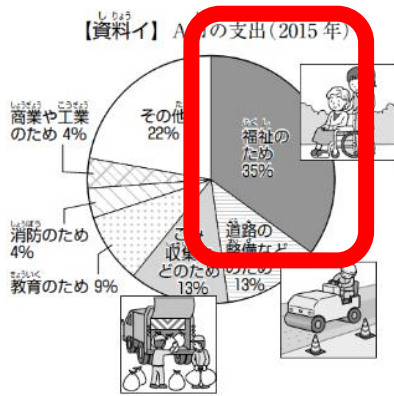
条件に合わせて、各資料から必要な情報を読み取る。

問題 7 (3)

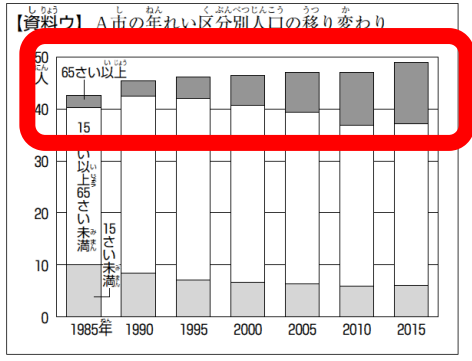
はるなさんは、これからのA市の支出について、次のように予想を発表しました。
【資料イ】と【資料ウ】を使って、はるなさんの発表の にあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。



今後、A市の「福祉のため」の支出は増えていくと懸念します。
 理由は、資料から、 と考えたためです。



A市の支出のうち、3分の1以上福祉のために使われている。

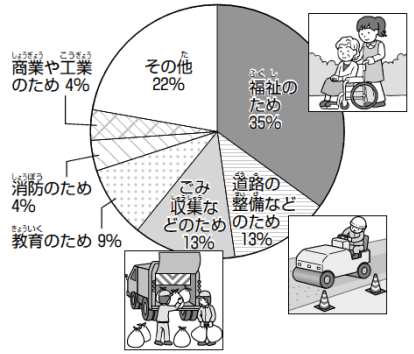


- ・高齢者が年々増えている。
- ・15歳未満は減っている。
- ・市の人口は増えている。

次に、比較・関連付けて考える視点を与え、内容の再構成や自分の考えを説明する場を設定する。

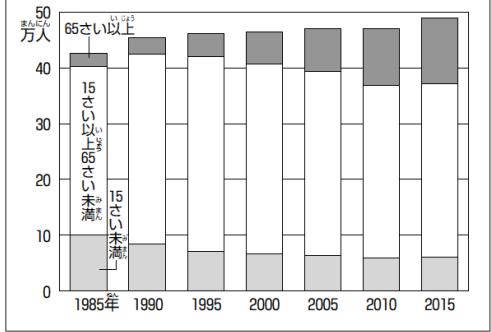


【資料イ】 A市の支出(2015年)



もし、現在の人口推移が続くと、A市の支出はどの様に変化していきますか？

【資料ウ】 A市の年別人口の移り変わり



A市の収入の多くは、市民の税金と県や国からの補助で、支出の3分の1は、福祉のために使われている。

<正答例>
65さい以上の高れい者が今後も増え
ると考えられるので、
医りよう費などが増
えるのではないか。

市全体の人口は徐々に増えている。その中でも、高れい者の人口は増え、15さい未満は減っている。

調査結果をよりよく活用するために

文章や各種資料から抽出したことを根拠として示しながら、自分の考えを持ち、説明することが出来るよう指導の充実を図りましょう。



- **調査結果を踏まえて、児童生徒の実態を把握した授業を展開する。**
 - ◆ 小学校では、生活経験に根ざした課題設定から社会的な見方や考え方を養う活動を工夫する。
 - ◆ 中学校では、入学時の学習の定着状況を基に授業計画を作成する。
- **児童生徒の発達段階や実態に沿い、資料を根拠として、自分の考えを伝える活動を設定する。**
 - ◆ 児童生徒の実態に合わせた資料の読み取り方の指導を行う。
 - ◆ 複数の資料を比較・関連付ける視点を与え、活動の場を確保する
 - ◆ 根拠を明確にしながらノートに自分の考えを書く活動を位置づける。
 - ◆ 互いの考えを共有し共通点や相違点を意識する指導を行うことで、より確かな根拠を持つことが出来るようにする。